

上毛町の教育 No.2

特集

まちづくりの現場から

このコーナーは、九州一輝くまちづくりのため、町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを紹介するものです。今月は、「コミュニティ・スクール」の特集です。



子どもが「行きたい学校・帰りたい家庭・出かけたい地域づくり」をめざす コミュニティ・スクールの取り組み

地域とともにある学校をめざして

教育委員会では、上毛町で教育を受けさせたいと思えるような、質の高い学校教育を提供し、家庭・地域・学校が一体となって特色ある教育を行う仕組みづくりを行っており、その中核となる仕組みが「コミュニティ・スクール」です。

今、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・困難化しており、教育改革、地方創生の動向からも地域の連携・協働の重要性が指摘されています。このような状況の中、子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには社会総掛かりでの教育の実現が不可欠となってきています。

この社会総掛かりでの教育の実現を図る上でこれからの学校は、地域でどのような子どもを育てるのか、何を實現していくのかという目標やビジョンを地域住民と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが必要です。

そして、この取り組みの実現には学校と地域がパートナーとして連携・協働できる制度が必要であり、それが学校運営協議会制度となります。この学校運営協議会制度を導入している学校が「コミュニティ・スクール」です。

コミュニティ・スクールは平成17年度から始まり、当初は全国で17校でしたが、平成30年4月には全国で5432校まで増えています。改めて「地域とともにある学校」をめざす「コミュニティ・スクールの有効性が実感されている現状だ」と思います。

上毛町のコミュニティ・スクールの状況は次のようになっています。平成28年度に唐原小学校と西吉富小学校、平成29年度に友枝小学校と南吉富小学校、平成30年度に上毛中学校が取り組みを始めています。本年度で上毛町全ての小中学校がコミュニティ・スクールとなったことで次のような成果が表れています。

各学校の活動例を紹介します

<p>友枝小学校 【学校運営協議会長 小林正文氏】</p>  <p>おらが村の運動会として大勢の地域の方々が参加して行われた秋季大運動会</p>	<p>唐原小学校 【学校運営協議会長 百留義信氏】</p>  <p>「いつでもあいさつ」を合い言葉に地域の結びつきを深めるあいさつ運動</p>	<p>南吉富小学校 【学校運営協議会長 出口孝氏】</p>  <p>地域とのつながりで復活した冬の風物詩のもちつき大会</p>
<p>西吉富小学校 【学校運営協議会長 安元輝己氏】</p>  <p>地域の協力を実現した学校横の田んぼを使つての田植え体験</p>	<p>上毛中学校 【学校運営協議会長 百留隆男氏】</p>  <p>地域で活動する指導者を招いて文化的活動を体験した文化講座</p>	<p>町内全校区での見守り活動</p>  <p>多くの皆様のご協力で、子どもたちも安全に登下校できています。</p>

学校では

地域の方々の専門性や地域資源を活用した授業が行われるようになったことで、子どもたちは地域を身近に感じ、地域の良さを感じて楽しく学習することができるようになっており、地域に根差した教育ができるようになっていきます。

保護者からは

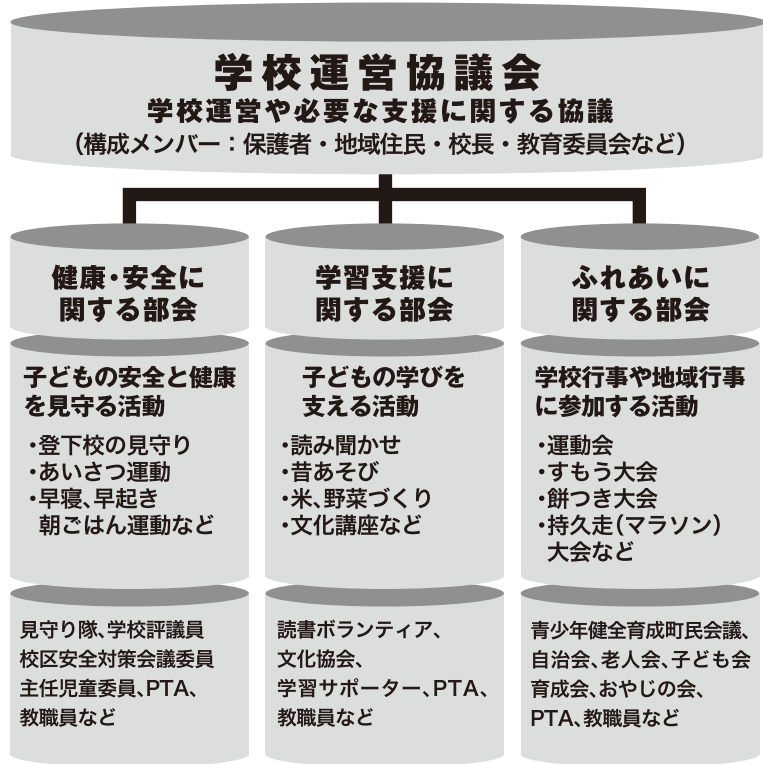
地域の方々の登校時などのあいさつ運動や見守り活動のおかげで、地域の中で子どもたちが育てられているという安心感ももてるようになってきています。

地域からは

「子どもの見守り活動をするようになって、子どもの明るいあいさつに元気をもらえるようになりました。また、地域の方々ともあいさつが以前より多く交わされるようになりました」というような声が届いています。



上毛町小・中学校 コミュニティ・スクールの組織



まさに社会総掛かりでの教育を推進し、地域とともにある学校づくりをめざすコミュニティ・スクールは、子どもの成長のみならず、地域社会を活性化し、元気にし、地域の絆を深めていく取り組みです。上毛町の未来を担う子どもたちが「行きたい学校、帰りたい家庭、出かけたい地域」と思えるようになるためにも今後、保護者や地域の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、さらなる充実を図っていきたくと考えています。

●問い合わせ先 教務課 学務係 TEL 72-3165(内線177)